

2007年 どくだみ荘 福祉農園報告書

テーマ : 福祉農園、10年目への抱負

はじめに どくだみ荘の農園活動は、日頃、身体に障害があるが故に、なかなか外に出る機会がない利用者さんに外の空気に触れてもらうために始めたものです。

今現在、担当職員と農園担当ボランティアが中心となり、時には、利用者さんにお手伝いをしてもらいながら、今年一年農園作業をやっていきました。

農園活動は、週一回。そのため、その環境でも良好な作物ができるよう、昨年よりもジャガイモ、さつまいもを中心とした根菜類を展開しました。

2007年福祉農園活動報告

作付け一覧表に沿った作業計画：昨年の作付け計画を参考に、毎日管理をしなくてはいけない葉物を縮小。そのかわり、根菜類の充実を図りました。結果は以下のとおりです。

平成19年度どくだみ荘福祉農園作付け一覧表

NO	種別	作付け	備考(結果)
1	じゃがいも(種イモ)	3月上旬実施	良好、きたあかり・メークイーン・男爵の3種類を実施。例年になくいい出来であった
2	たまねぎ(苗から)	昨年から	良好、今年は二畝実施。マルチは大きく育ちすぎてしまうのがあった。
3	ほうれんそう	3月下旬	15センチ程。一畝単位で作付けを行ったため、収穫しきれず、最後は枯らしてしまった。
4	にんじん	3月下旬	10センチ程。昨年と比べ、大きく育ったが、先割れしてしまうものが目立つ。
5	さといも(種イモ)	3月下旬	良好、しかし、土寄せが徹底できなかつたためか、固いイモが、いくつもできてしまった。
6	やつがしら(種イモ)	3月下旬	良好
7	ねぎ(苗から)	4月上旬	土寄せが徹底できなかったためか、1センチ程の大きさにしかならなかった。
8	さつまいも(苗から)	5月上旬	良好。最初は苗が枯れてしまい心配したが、大きく成長、30センチ程の大きさのさつまいもが大量にできた。
9	きゅうり(苗から)	5月上旬	良好ではあったが、管理しきれず、大きくなりすぎてしまうものが多くあった。
10	ししとう(苗から)	5月上旬	例年通り良好
11	おくら(苗から)	5月上旬	不良 苗が枯れてしまうものもあり、実際試食したが、固くて食べられなかった。
12	ミニトマト(苗から)	5月上旬	良好、最後は管理が行き届かず、摘み取りきれないものもあった。
13	大根	9月中旬	良好、昨年とは比べ物にならないほど大きく育つ。今年一番の収穫と言っていいほどであった。

14	ほうれんそう	9月中旬	良好、5月頃に作付けしたものと比べ、小ぶりではあるが、試食して、軟らかく甘みのあるものができた。
15	こまつな	9月中旬	良好、ではあったが、虫に食われてしまうものが多かった。
16	青梗菜	9月中旬	良好、ではあったが、虫に食われてしまうものが多かった。
17	春菊	9月中旬	良好、小ぶりではあるが、試食して、軟らかく甘みのあるものができた。
18	たまねぎ（苗から）	10月上旬	来年へ

表のとおり、にんじん、おくらを除き概ね良好でした。

反省点

3月からのジャガイモに始まり、きゅうり、ししとうなどの夏野菜までは計画通り遂行できましたが、秋野菜、特に来年収穫する玉ねぎに関しては、土づくりから、マルチング苗の植え付けまでしてもらいました。これからはこのようなことがないようにしていきたいと思っています。

● 今年度実施できたこと

- ① 今年も昨年同様、車椅子の方、障害のある方も畑に入り、作物にふれ、収穫を行う事ができるよう、ボランティアの方と相談をし、畝と畝の間を90センチほど広げ、収穫できやすいよう根菜類を中心とした作付けを行いました。
- ② 今年も昨年同様、雑草とりを中心に利用者さんと一緒に作業を行う事が出来ました。



収穫良好であった作物（たまねぎ・じゃがいもなど） 雑草取りをする宮沢さん



（昨年同様通路の幅をひろげました） （一緒に作業をした利用者の宮沢さんと井本さん）

2008年の福祉農園活動目標

① 作付け一覧表の作成。それに沿った作付けの実施。

今年も作付け一覧表を作成。それに沿った作付けを昨年よりも計画的にすすめていきたいと思ひます。そのなかで昨年作付けをしなかつたピーマン、なす、などにもチャレンジしたいと思ひています。

② 車椅子の方でも畑に入ることのできる農園づくりを目指して

今年も昨年同様、担当職員と農園担当ボランティアが中心となり、時には、利用者さんにお手伝いをしてもらいながら、農園作業をやっていきました。

次年度も同様、農園に参加する利用者さんが少しでも多くなるようにしたいと思ひます。

それには車椅子の方でも畑に入ることのできる農園づくりを計画し実施しなくてはいけないと思ひます。次年度からは、それを目標にして、少しずつでもその近づければと思ひています。

③ 10年目の抱負。これからのどくだみ荘と福祉農園のために

前項でも明記しましたが、現状、農園担当の職員とボランティアにて農園作業をすすめています。最終的には、作付け計画・実施ともども利用者さんが主体となるような農園作業になることが理想です。今年度は、一部ですが利用者さんと一緒に作業を行う事ができました。次年度で達成できることではありませんが、少しでも利用者さんが主体となるような作業ができるような「はしわたし」ができるようにしていきたいと思ひています。

そして、次年度からは、当施設だけでなく、農園に携わっている施設、ボランティアの方々と共に何かができるように思ひています。

さいごに

今年一年無事に農園活動できたのも、農園担当ボランティアの上原さん、そして、「畑で作物をつくる」ということに関して、全くの素人である私たちに、土づくりから作付けまで、丁寧にご指導して下さった藤枝さん、そして、農園協議会のみなさまの力があつてのことです。本当にありがとうございます。次年度も迷惑をかけることがあると思ひますがよろしくお願ひします。



今年収穫好調な大根とボランティアの上原さん。藤枝さん、これからも宜しくお願ひします。